

二〇一〇★春号

九段会計通信

発行：九段会計事務所

東京都千代田区九段北4-1-1
電話：03-3222-5271

所長挨拶

九段会計事務所 代表 税理士 高木 功治
(社員教育について)

いよいよ春本番となりました。真新しいスーツに身を包んだ新社会人や、まだ馴染んでいない制服姿の生徒が増え、いつもの景色がなんだか新鮮に感じます。春というだけで明るい気分になるのは、こんな理由があるのかもしれない。

このところ新聞を読んでいますと、景気にとつてプラスの記事が多くなった事を感じます。具体的には、「アメリカ経済は底入れした。」

「新興国の経済は回復している。」「日本においてもピラミッドの頂点にある大企業は、業績が上向いている。」というような記事です。世界的な経済の回復に伴って、少しずつ日本経済も明るい方向に向かっているようです。

しかし、依然デフレが続いていますし、新興国需要の影響で原油・資源価格が高騰する心配も出てきました。経済の足かせ要因がある中、ピラミッドの下部の中小零細企業にまで景気回復の効果が届くまでは、まだしばらく時間がかかるのかもしれない。当面は現状の景気を前提に経営を考えていくことが必要となります。以前も書きましたが、不況で色々な仕組みが変わっているのだから、この状況をチャンスだと捉えて活動していくしかないですね。

さて、皆様の会社でも、この春に新しく加わつ

た仲間はいらっしゃるでしょうか。たまたま見ているテレビ番組で、「餃子の王将」の新入社員研修を取材したコーナーがありました。飲食業界では不況下の勝ち組としてしばしば取り上げられる企業ですので、どんな研修をするのだろうかと興味津々です。この研修、一言で言うところ「富士山の地獄の特訓」の五日間バージョンでした。「地獄の特訓」とは、行動規範の暗記テストや、夜間行進訓練、自分の目標についてのスピーチテストなど様々な内容についての研修を、約二週間、軍隊的な、あるいは体育会系的な規律の中で行う研修プログラムです。皆様の中でも受けられた事がある方がいらっしゃると思います。

就職氷河期の中、四十社も五十社も受けたが内定が出ず、やっと「餃子の王将」に就職出来たという新入社員たちが、初体験の逃げ出したくなる程の厳しい研修を受け、最後には感極まり泣きながら自分の目標をスピーチする姿に思わず目頭が熱くなりました。

話は変わりますが、以前、アメリカのMBA(経営学修士)を取得された方とお話をする機会がありました。私のMBAのイメージは、アカデミックな内容をマスターしていくエリートというものでしたが、MBA取得の話聞いてびっくり。なん



高木

春。出会いの季節であり、別れの季節でもありません。始まりの季節であり、終わりの季節でもあります。皆様にも様々な出会いと別れがあったことと思います。でもそれは、連綿と続く時間を人間が勝手に切り取っただけ。「幸せはいつも自分の心が決める」相田みつをさんが言ったように、物事を決めるのはいつも自分。ご覧頂いている皆様と切っても切れない関係でありたい九段会計です。

◆目次◆

- ◆ 所長挨拶
- ・平成二十二年度税制改正のポイント
- ・元金融マンが語る「借入のための信用格付」



と一週間、アーミーに入隊し、そこをクリアしなければ、MBAを取得できないというのです。入隊した初日に、グラウンドに各々スコップで穴を掘らされ、掘り終わると一晩その穴で過ごせという命令が出されるそうです。零度位の気温の中、隣の人と話をする事も、トイレで穴の外に出ることも許されず、ブルブル震えながら耐えたそうです。こんな調子で一週間の訓練を耐えて卒業しなくてはなりません。当然軍隊なので、戦場での少しのミスが自分や隊全体の命取りになります。軍隊の訓練としてはこれが当たり前なのでしょうが、ビジネスエリートにも軍隊式の規律を、体験を通じてマスターさせる事に、本当に驚きました。

実は私も「地獄の特訓」の二泊三日バージョンを受けたことがあります。恐らく会計事務所業界でこの研修を受けた人はあまりいないと思います。この「地獄の特訓」は、いわゆるショック療法的な研修ですので、賛否両論あります。まずは、それぞれの会社の目指す方向、文化をしっかりと認識し、もし、それに合っていれば、この「地獄の特訓」系の研修は一つの手段としてとても有効な方法だと思えます。

経営者の皆様は、いつも人の事で悩んでいらっしやいます。どうしたら幹部や社員に気持ちや想いを伝えられるのか、どうしたら幹部や社員が成長し、強力な組織ができるのか。この課題に対しての万能薬、特効薬はありません。所属する人や企業文化など前提が千差万別なので、それぞれの会社で試行錯誤しながら形をつくっ

ていくしかない問題です。私の実感として、この課題に常に真剣に考え取り組んでいる社長の会社は、意識の高い幹部や社員が多く、会社業績も好調です。

街にあふれる新社会人を前に、自分の想いを事務所のメンバーにいかにか伝えるか、改めて考えている今日この頃です。

平成二十二年度税制改正のポイント

九段会計事務所 副代表 税理士 森 雅浩

去る三月二十四日、平成二十二年度の税制改正関連法が成立し、税制改正の内容が確定しました。ここでは、今回確定した税制改正の内容のうち、重要な項目について、法人課税・個人所得課税・資産課税に分けて見ていきたいと思います。

①法人課税

法人税関係で重要な改正は、いわゆる「一人オーナー会社課税制度」の廃止です。この制度は、同族関係者で株式を九〇%以上所有していること等の条件に該当した場合に、会社オーナーの給与の給与と所得控除相当額を、法人の課税所得に加算するというもので、平成十八年度の税制改正で成立しました。この制度により、条件に該当する会社は、数十万円規模での法人税の

課税強化になっていました。

この制度が、今回の税制改正で廃止となり、平成二十二年四月一日以後終了する事業年度より順次その適用がなくなります。

しかし、会社オーナーの給与の給与所得控除相当額については、抜本的な措置を平成二十三年度の税制改正で講じていくことも決定していますので、この制度に代わる新たな課税強化制度が次年度から始まる予定です。どのような制度になるか現状では全く分かりませんが、弊社では制度の内容が分かり次第、お伝え致します。

②個人所得課税

個人所得課税で重要な改正は、十五歳までの扶養親族がいる場合の扶養控除(38万円)の廃止(0円へ)及び、十六歳から十八歳までの特定扶養控除(63万円)の縮減(38万円へ)です。この改正は、平成二十三年分より適用となります。

この改正のみを取り上げれば確実に増税ですが、同時に成立した子ども手当制度と合わせて考えると、該当する多くの家庭で収入増となる予定です。特に来年に予定されている子ども手当の金額(月額2万6000円、現在のところ未決定)で考えれば、十五歳以下の扶養親族のある家庭で収入増になる計算になります。

③資産課税

資産課税で重要な改正は、住宅取得等資金の贈与に係る贈与税の非課税措置の拡大です。

平成二十一年までは、非課税限度額が500万円でしたが、平成二十二年中の贈与については1500万円、平成二十三年中の贈与については1000万円と、それぞれ拡大されました。ただし受贈者に所得制限(2000万円)が課されることになりましたので、注意が必要です。

この制度と昨年の税制改正で行われた住宅ローン控除の拡充、そしていわゆる「住宅版エコポイント」との効果によって、新たに住宅を取得しやすい環境が整ったといえます。またこの制度は、相続税対策としても効果がありますので、ご興味のある方は弊社担当までご連絡ください。



元金融マンが語る「借入のための信用格付」

九段会計事務所 所員 佐野 宗源

春を迎え、徐々に気候も暖かくなって参りました。私も会計事務所に入所して初めての「確定申告」(会計事務所の一大イベントであります)を終え、気持ちにも余裕ができて毎日ウキウキしている今日このごろです。所変わって私の前職の銀行での一大イベント

は、「自己査定」が挙げられます。皆さんは、この「自己査定」をご存じですか？

「自己査定」とは、銀行が決算書から返済の可能性が低い債権を的確に把握し、それらに対して早期の手当てをするため、年二回、貸出金等の資産の価値を自ら査定して分類する作業のことを言います。簡単に言えば、既にお金を貸している融資先の決算書から、今後延滞なく貸付金を回収できるかを予想するというものです。この自己査定の結果により、今後の借入申込がスムーズにいくかがかかっているといっても過言でもありません。

銀行における自己査定では、金融監査マニュアルを基に貸出先等の債務者(融資を受けた会社)の財務・経営状態に応じて債務者を次表のように分類します。

これらの分類を俗に「融資先の信用格付」と言うことがあります。この格付は、定量評価(自己資本比率や債務償還年数

① 正常先	業績良好かつ財務内容にも特段の問題がないと認められる債務者
② 要注意先	業況が低調ないし不安定な債務者
③ 要管理先	要注意先のうち、3カ月以上延滞または貸出条件を緩和している債務者
④ 破綻懸念先	債務超過先で、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者
⑤ 破綻先	法的・形式的な経営破綻の事実が発生している債務者

等の財務分析による数値的な評価項目から生じる評価)と定性評価(業歴や経営方針等の経営環境や経営能力といった企業の質的な評価項目から生じる評価)を加えて決定されます。その格付・評価に基づき、借入時の金利や融資条件が決まっていきます。

皆様にとって大きな問題になるのは、この格付において③～⑤に分類されてしまうと借入の審査は非常に厳しいものとなってしまふという点です。通常、借入時の直近の決算が二期連続で黒字であると借入の審査は通りやすいと言われております。しかし、直近二期連続で黒字計上しても、三期前までは赤字体質であったことにより、自己査定で③～⑤に該当してしまつた場合には、金利の引き上げ、貸し渋り、追加担保、返済圧力、貸しはがしを行われる可能性があり、企業の死活問題にもなりかねません。信用格付で③～⑤に該当してしまつたと②や①に格上評価されることが非常に難しいということになります。

では、どうすれば格付評価を上げることができるのか？どうすれば評価を下げずにすむのか？流動比率、当座比率、固定比率、総資本経常利益率・・・聞き馴染みのない「○○率」というものを、銀行では財務分析を行なって導き出していきます。それぞれの分析を行ない、適正以上の数字となれば定量評価が上がります。

定量評価を上げるには売上を伸ばし、利益を増やすことです。もちろんそれは誰しもが分かっ

ていることですが、この不景気のご時世に増収増益という結果を出せる会社は多くありません。ですから「〇〇率」を上げるにはどうしたらよいのかということにポイントを絞り営業活動を行っていくことが大切になります。例えば売上について、売掛金や手形で回収していたものを現金で回収できるようになった、ということでもキャッシュフローは良好になり、売上債権回転比率は上昇し、評価が高まります。そうした企業の自助努力を日々行う必要性があります。定性評価に関しても自社の把握をしておかないと、自社の強みや経営方針を金融機関に伝えることは難しくなります。

顧問先様の状況は千差万別ではありますが、特に借入のご予定がある時は、しっかりとした予算管理を計画し、その計画を実行していただき、より良い決算を迎えなければなりません。九段会計事務所としてはそれらの一連のことを行うために、私たちと顧問先様がコミュニケーションを密に図り、定期的な訪問の中で日常業務で生じたお悩みを解決していき、顧問先様にとって最良の決算書を作ることに日々努力を重ねております。ですから、職員が訪問する際は小さな疑問でもどんどんぶつけていただければと思います。弊社のモットーは「話しやすさナンバー1事務所」なのですから！



〈編集後記〉

編集担当の新井です。

- 「未来に向けた具体的な行動の時間を、一日のどこかで必ず確保している」
- 「未来への行動により日々達成感を得ている」
- 「朝まとまった時間をとるために早起きする」
- 「集中心力を高めるためのコツがある」
- 「目当ての情報だけを得る工夫がある」
- 「アウトプットに活かす工夫がある」
- 「空き時間・待ち時間の使い方を決めている」
- 「ビジネス書以外にあらゆる分野の本を読む」
- 「将来のために予算を決めて自己投資する」

お読みになった方も多いかと思いますが、これらは「プレジデント四月十二日号」に取り上げられた、「年収一五〇万円以上」の方の習慣とのことです。つまりは成果を出し認められている人が日々どのような意識であるか、ということでしょう。

こうして編集後記に書いているのは皆様との情報の共有のためと、内容をまとめて自分の腑に落とすため。「アウトプットに活かす工夫がある」の実践です。つまりこれで私もすぐに年収一五〇万円プレーヤーにな（以下省略…）

GRAPHIC DESIGN

**あなたの「……したい!!」を
デザインいたします**

印象に残る
会社案内を
新規制作
したい!!

販売促進用に
新商品の
カタログを
作成したい!!

お店の
ロゴ・メニュー・
チラシ・POPを
新しくしたい!!

企画・デザイン・撮影、印刷納品までの
一貫したご依頼も承ります。

gg 有限会社 **グラン gren**
〒150-0011
東京都渋谷区東1-11-13
公 03-5485-3085
会 03-5485-3086

当社資料を
ご希望の方は
ぜひご連絡
ください。

広告の
ソコチカ
をみせます!

株式会社スマートライン
〒121-0836 東京都足立区入谷 9-12-7
tel:03-5839-8861 fax:03-5839-8862

ポステイティング以外でも、
お手伝いできることが、
きつとあります。

中央物流有限会社

物流でああなたのニーズにお応えします。

- ・一般貨物自動車運送事業
- ・産業廃棄物収集運搬事業
- ・倉庫事業(保管・荷役)
- ・引越、移転作業等

〒208-0023
東京都武蔵村山市伊奈平2-75-3
電話:042(520)2636
FAX:042(520)2635

<http://www.irc21-ryugaku.net/>

未来のためにあきらめない
フランス留学

フランス語、バレエ、音楽、美術、料理、エステなど
全ての分野で留学サポート

お気軽に
ご相談下さい。

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-3-2-301
TEL:(03)3222-0405 / FAX:(03)3222-3635

E-mail
bonjour@irc21-ryugaku.net

**Maison
de la FRANCE**
franceguide.com
後援:フランス政府観光局

ホームページのデザイン・制作
WEB SYSTEMの開発

PHASE
System, Produce & Management
株式会社フェイス

当社ではお客様のニーズに合わせたホームページを
制作致します。お気軽にお問い合わせ下さい。

ホームページデザイン + システム制作
社内LANやサーバー構築などのイントラネット環境整備・設置

info@phase.jp Tel. 03-6908-5012
<http://www.phase.jp/>